

事業番号	11 02 01	事業改善シート（27年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	監理諸費				担当課	部局	建設部	
						課・室	技術管理室	
総合5か年計画	プロジェクト	施策の総合的展開				E-mail	gijukan@pref.nagano.lg.jp	
	実施期間				～			

1 事業の概要

目指す姿	①(再評価):公共事業の再評価等を通じ、実施過程の透明性を確保しつつ、真に必要な事業の効果的・効率的な実施を図る。 ②～⑤(システム関係):入札及び契約事務の効率化により事務量の低減と事務手続きの適正化を図る。 ⑦(土木職員研修):土木職員の資質向上を図る。 ⑧(信州「土木のお宝」):土木施設のデータを収集、整理し、観光や地域振興、技術の継承等、広範な活用を図る。
------	--

現状(予算編成時)	①(再評価):評価対象箇所について再評価等を実施し、第三者委員会の「長野県公共事業評価監視委員会」に意見を求めている。 ②～⑤(システム関係):入札及び契約事務の効率化による事務量の低減と事務手続きの適正化を図るため、電子入札システム等のシステムを導入している。 ⑦(土木職員研修):土木行政(公共事業)に精通している研修機関に土木職員を派遣し、必要な知識や技術の取得を図っている。
-----------	---

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施:実施は困難	①(再評価):国土交通省所管公共事業の再評価実施要領等

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)
	②～⑤(システム関係):利用者に快適なシステム環境を提供するため、システムの安定的な運用を図り、システム障害発生件数をゼロとする。【H25実績】0件

② 事業内容		(単位:千円)		
項目	実施方法	H27事業実績		H28
		(当初)	(決算)	(当初)
1.長野県公共事業評価監視委員会	直接	995	741	995
2.発注者支援データベースシステム	委託	40	40	52
3.工事事務管理システム運用管理業務	委託	1,004	1,004	1,099
4.電子入札システム運用支援業務	委託	2,494	2,494	2,782
5.設計積算システム維持管理業務	委託	58,560	53,658	58,324
6.建設資材価格調査業務	委託	7,485	9,655	10,239
7.土木職員研修	直接	2,492	2,387	2,755
8.信州「土木のお宝」データベース作成・活用事業	負担金	527	404	0
9.その他管理経費		8,214	9,878	8,390
合計		81,811	80,261	84,636

事業	区	分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0
		当初予算	84,441	76,291	81,811	84,636
		補正予算	0	0	1,760	0
		合計(A)	84,441	76,291	83,571	84,636
	コスト	一般財源	9,638	9,338	11,804	13,639
		県債	0	0	0	0
		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	74,803	66,953	71,767	70,997
	決算額(B)	80,884	76,271	80,261		
概算	職員数(人)	9.00	9.00	10.00	10.00	
	概算人件費(C)	74,322	74,322	82,760	82,760	
	概算事業費(B(A)+C)	155,206	150,593	163,021	167,396	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
②～⑤システム障害発生件数	1	0	0	達成	0

目標に対する成果の状況	システムの安定的な運用を図り、システム障害発生件数は0件と目標を達成し、利用者に快適なシステム環境の提供がなされた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 長野県公共事業評価は公共事業の効率性及び透明性の確保に資する事業であり今後も継続して事業を実施していく。システム管理等については、システム障害発生件数ゼロを継続し、システムの安定的な運用による利用者への快適なシステム提供に努める。
--------------------	--